

## 第7回「ツール・ド・北海道安全対策検討会」議事要旨

(開催要領)

- 1 日 時 令和7年3月26日(水) 17:00~19:30
- 2 場 所 Web会議
- 3 出席委員 座長 武藤俊雄(北海道大学 公共政策大学院 准教授)  
委員 甲谷 恵(公益社団法人 北海道交通安全推進委員会筆頭副会長)  
委員 萩原 亨(北海道大学 名誉教授)  
委員 林 辰夫(前 アジア大陸自転車競技連合理事)  
委員 宮澤崇史(宮澤崇史 Management Office bravo 代表)
- 4 議事次第  
(1) 開会  
(2) 検討会  
(3) 閉会
- 5 配布資料  
ツール・ド・北海道安全対策に関する検討報告書(案)  
第6回ツール・ド・北海道安全対策検討会議事要旨

(検討会概要)

- 1 開会
- 2 検討会

最初に、武藤座長からの挨拶。

続けて、事務局から「ツール・ド・北海道安全対策に関する検討報告書」(案)についての説明。

説明後の各委員からの発言については以下のとおり。

- 片側1車線から2車線全幅使用としても、下りは観戦者禁止エリアとして、障害物(車両)を入れないことを徹底する。観戦対策の一環として追記する。
- 一方的に安全対策が悪いとしているが、事故や問題が起きるのは、選手が競技規則から逸脱した勝手な判断や都合の良い判断をしていることが多い。一番大事なのは競技規則を守ること。
- ロードレースの認知度を上げることが大事。例えばサイクルツーリズムや北海道の地域づくりに貢献している組織と連携し、ロードレースと北海道の魅力度の向上に努力すべき。
- 安全対策として全車両装備のラジオツールに発信機能を備え、緊急時には審判車両以外にも使用を許可する。

(以上)